

中学2年次の向学校的行動を促進する生徒指導

金子 泰之

(中央大学保健体育研究所)

【目的】金子(2012)では、教師が問題視する生徒の行動を問題行動と定義した。一方で、学校と教師が持つ価値への肯定的な適応を示す生徒の行動を向学校的行動と定義した。そして、向学校的行動が促進されることで生徒の問題行動が抑制されることを中学3年間の縦断調査から明らかにした。特に、中学2年次の向学校的行動を促進することで、中学3年次の問題行動が抑制されることが明らかとなった。つまり、生徒の向学校的行動を促進することで、生徒の問題行動が抑制される間接的問題行動抑止モデルの有効性が示唆された。

親や教師への反発など、第二次反抗期を迎えた中学生の問題行動をゼロにすることは難しい。しかし、生徒のプラスの面に目を向け、向学校的行動を促進することは可能である。学校現場では、生徒の問題行動に注目しがちである。中学生の問題行動を減らそうと、直接的に問題行動にアプローチするのではなく、生徒のプラスの面に注目し、生徒の向学校的行動を促進する視点を持つことの重要性が明らかとなった。課題としては、どうしたら生徒の向学校的行動が促進されるかは明らかにされていなかった。本研究では、生徒の向学校的行動をどうしたら促進できるのかを教師の生徒指導をもとに検討する。具体的には、生徒の2年次の向学校的行動を促進する生徒指導を明らかにする。

【方法】 調査時期と対象者 首都圏にある公立中学校2校において、2007年4月に中学校に入学した生徒を対象に3年間にわたる調査を実施した。調査時期は、2008年3月(1年次)、2009年3月(2年次)、2010年3月(3年次)の3つの地点であった。3月に調査を実施したのは、学年末に調査を実施することによって1年間を振り返って回答できるため、各学年の実態を捉えられると考えたためであった。241名(A中学校152名、B中学校89名)にアンケートを配布し、3回の調査すべてに回答のあった199名(男子:98名、女子101名)(A中学校127名(男子:56名、女子:71名)、B中学校72名(42名、30名))を分析対象とした。

調査内容 ①向学校的行動 学校生活関与行動と学校習慣順守行動の2因子から構成される、金子(2009)の向学校的行動尺度を用いた。「ここ1年間に、あなたは以下のことをしたことがありますか」という教示のもと、「まったくない(0点)」から「何度もある(3点)」の4件法で回答を求めた。②校内問題行動 対教師の問題行動、対学校の問題行動、対生徒の問題行動の3因子から構成される、金子(2011)の問題行動経験尺度を用いた。「ここ1年間に学校内で以下のことをしたことがありますか?」という教示のもと、「まったくない(0点)」から「何度もある(3点)」の4件法で回答を求めた。③教師の生徒に対する関わり 能動的関わりと事後的関わりの2因子から構成される金子(2009)の尺度を用いた。

【結果と考察】 中学2年次の向学校的問題行動を促進する生徒指導を検討した。1年次、2年次、3年次の3地点ごとに、能動的関わりと事後的関わりの2つの生徒指導が、問題行動に与える影響(Table1)と向学校的行動に与える影響(Table2)を検討した。Table1より、2つの生徒指導は問題行動には有意な影響を与えていなかった。一方、Table2より、事後的関わりは1年次の向学校的行動を促進していた。さらに、能動的関わりは2年次の向学校的行動を促進していた。

金子(2012)では、2年次の生徒の向学校的行動を促進することの重要性が指摘されていた。本研究の結果から、2年次において、教師が生徒に能動的に関わることで生徒の向学校的行動を促進できることが明らかとなった。2年次の教師による能動的な関わりにより、生徒の向学校的行動を促進されると、3年次の問題行動が抑制することができると言えるだろう。中学2年次は、将来の希望が低下し、空虚感が強くなるなど時間的展望が低下する(都筑, 2008)。将来への見通しが不透明になる中学2年生であるが、その生徒の学校生活への関与を高めるような視点を教師が持って生徒指導を行う重要性が示唆された。

Table.1 生徒指導と問題行動の関連

		問題行動		
		1年次	2年次	3年次
生徒指導	能動的関わり	-.04	.07	-.01
	事後的関わり	.00	-.19	-.10
重決定係数 (R ²) 値		.00	.02	.01

**p<.01 *p<.05 °p<.10

Table.2 生徒指導と向学校的行動の関連

		向学校的行動		
		1年次	2年次	3年次
生徒指導	能動的関わり	.05	.19 [†]	.09
	事後的関わり	.18*	.02	.08
重決定係数 (R ²) 値		.05*	.04*	.02 [†]

**p<.01 *p<.05 °p<.10